

## 令和7年度 2学期終業式 講話

■令和7年 12月22日 №.22

おはようございます。長かった2学期も今日で終わりです。明日から冬休みですね。クリスマスやお正月など大きな年中行事が続きますが、かぜなどひかないよう、健康に気を付けて過ごしてくださいね。

今週の「いいところみつけたよ」は、先週まで行われていた「作品展」について、みなさんがすごくがんばってつくっていましたので、そのお話をしようと思います。全部を紹介したいところですが、時間に限りがありますので、各学年3~4つの作品を紹介いたします。(中略) どの作品もすばらしい仕上がりでしたね。よくがんばりました。

さて、先週のお題は「皆さんがサンタさんになったつもりで「誰に」「何を」プレゼントしたいですか?というお題で書いてもらおうと思います。よかつたら、校長室前のボードに書いてくださいね。」というものでした。

ともだちに「プリキュアのグッズをプレゼントしたい。」「担任の先生にネコのゴムをプレゼントしたい。」「お母さんにお花をあげたい。」など素敵な回答がありました。書いてくださったみなさん、ありがとうございます。

さて、これは何でしょう?これはゴールドクリストという木で、もみの木のかわりに「クリスマスツリー」にもよく使われます。これを今回学校に植えようと思います。今はとても小さいですが、来年にはこれにクリスマスの飾りなどができるといいですね。なお、この木はうまく育てたら20mぐらいの大木になるらしいですよ。楽しみですね。

では、なぜこの木がクリスマスツリーに使われるのでしょうか?冬でも枯れない常緑樹だからなのです。冬でも枯れずに元気なので、昔の人はこの木にあおこがれたのですね。ちなみに、桜やもみじは、秋になると紅葉し冬には枯れる落葉樹とよばれます。

さて、現在世界には200ぐらいの国があります。今から世界地図に国旗を出していきますので、何という国か見てみてください。「ブラジル、アメリカ」そうですね。では、これは「日本、韓国、中国、インド」これらの地域は何と呼ばれていますか?そうアジアですね。そしてこのあたりは、何とよばれていますか?そうヨーロッパですね。ここにヨーロッパの拡大図を出します。

では、また国旗から国名を考えてみましょう。「フィンランド、ドイツ、イタリア、フランス、イギリス」です。じつは、この中にクリスマスツリーをはじめた国があるのですか、どこでしょうか?

フィンランドには、サンタクロース村があって、そこから全国にサンタさんがプレゼントもってとなかいを走らせるみたいですよ。イタリアでは靴下の中にプレゼントを入れてもらう習慣ができました。フランスのこれはブッシュドノエルといって、クリスマスケーキのはじまりですね。またイギリスではクリスマスをお祝いして、クリスマスブディングという食べ物を食べるそうです。ということで、クリスマスツリーをはじめた国はドイツでした。

では、このドイツという国はどんなにでしょうか。日本からは飛行機で13時間ぐらいです。国の広さは日本とほぼ同じです。言葉はドイツ語で、ありがとうは「ダンケシェーン」と言います。またねは「チュース」です。また、ドイツ語が日本語になったものもたくさんあります。少しだけ働くことの「アルバイト」や牛乳からつくる白い食べ物「ヨーグルト」、遠足で使うかばん「リュックサック」などももとはドイツ語なんですよ。

ドイツの小学校○×クイズをしてみましょう。  
①ドイツの小学校は6年で卒業?どうでしょう?これは×です。なんと4年で卒業なのです。②そして卒業後は中学校にいく?×です。成績や自分の将来の夢で、4種類の学校から選ぶしくみになっています。③4年生は6時間目まである。これも×です。基本は4時間目までです。希望者は6

時間目まで授業を受けることができます。④成績はテストよりも授業態度で決まる。これは〇です。友だちと聞き合う、意見を発表するなどをしてポイントが高いようです。⑤給食は日本と同じ。×です。世界で最初に給食を始めたドイツですが、ビュッフェ方式で、自分の好きなものを好きなだけ食べられるようです。(学校によってもちがうようですが) ⑥暑い日は学校が休みになる。これは〇です。何と35度以上になることが予想される日は、お休みになるそうです。(これも州によります)

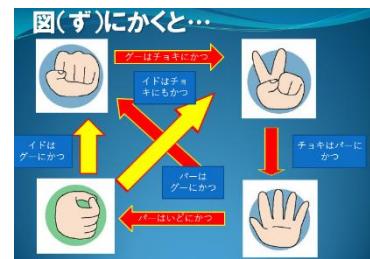
ドイツの人は何を主食にしているでしょうか? 日本では、お米ですが、ドイツでは? 「パン」かなあ。確かにパンも食べますが、基本はジャガイモだそうです。それと地方によって主食も変わり、みなさんもおそらく大好きなあの食べ物をよく食べるそうです。ヒントのドイツの地図を見ながら、少し周りの人と聞き合ってみてください。「あ、フランクフルトって書いてある!」そう、この街ではフランクフルトがよく食べられています。あまりに有名なので、街の名前が料理名になったのです。大阪で有名なたべものは「たこやき!」ですね。それが「おおさか」とよばれるようなものです。ちなみに、直径2cmより細いのはウインナーとよばれ、3.6cm以上のものは、ソーセージとよばれるようです。またハンブルグでは、ハンバーグをよく食べるそうです。いいですね。

人気のあるスポーツは断トツでサッカーです。ワールドカップがはじまるとき、学校や会社がお休みになるほどです。なお、昔日本はドイツからサッカーを教わりました。

ドイツでは、クリスマスになると、公園や広場にクリスマスマーケットというのが開かれます。ケーキ屋さん、フランクフルト屋さん、クリスマスツリーの飾り屋さん、ぬいぐるみ屋さん、手袋やマフラーのこもの屋さんなどたくさんの屋台ができるそうです。

最後に、ドイツの遊び、じゃんけんを紹介しま

す。日本のじゃんけんは? 「グーチョキパー」ですが、なんとドイツではこれに加えて4番目の「井戸」があります。てのかたちはも「井戸」ですね。井戸は石やはさみをおとすので、グーやチョキに勝ちます。でも、紙でふたされるので、パーに負けます。文字で書いてもわかりにくいので、こういうときは「図」にします。では実際にやってみましょう。



どうでしょうか。おもしろかった? 井戸が強い? でもパーには負けますよ。

それでは、冬休みのお題です。皆さんには俳句をつくっていただき、おーいお茶の俳句大賞に応募したいと思います。俳句というのは、「柿食えば鐘が鳴る也法隆寺」のように575の17音で身近なこと、感動したことなどを書いたものです。また、季語という季節を表す言葉を入れなくてはいけないルールがあります。先の句では? そう柿ですね。学校にもたくさん季語がありまして、冬休み、卒業式なども季語なのです。

俳句大賞には、200万句のうち小学生が4分の1ほど応募するなど、子どもにも大人気なのですよ。実際校長先生も前の学校の児童も3年生のときにつくった句「初日の出とても小さい駅で見た」が200万句から選ばれ優勝し、総理大臣賞をもらいました。東京におよばれしまして、文部科学大臣から賞状をもらったり、賞金50万円をいただきました。なお、この3年生の児童は、普段から俳句をつくっている子どもではなく、人生2つ目に詠んだ句で、優勝しました。ぜひみなさんもぜひがんばって、優勝をめざしてみてください。応募用紙には6句書けますので、よろしくお願いします。

今日も最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。3学期1月9日に素敵な俳句を持った皆さんと再会できることを楽しみにし

ています。では、メリークリスマス。良いお年をお迎えください。